

# インターネット電話への転送について

2005年10月25日  
NTTコミュニケーションズ

## インターネット電話への転送について

事業者によるインターネット電話への転送を条件付きで可能とした場合においても、さらに以下の事項を明確化しておく必要がある。

### 1. 発信者番号の取り扱いについて

現状、PSTNでの転送においては、着信者に出す発信者番号に転送者の発信者番号ではなく発信者の発信者番号を設定しているが、インターネット電話への転送の際にも同様に発信者の発信者番号を通知してよいかの確認が必要である。

逆に、インターネット電話からの発信サービスの際に、そのインターネット電話に転送着信可能な050番号を発信者番号として利用可能とすることとなる。

### 2. インターネット電話への転送方法について

インターネット電話への転送方式としては、(1)事業者が設置するGWを用いて回線を終端する方式と(2)回線を終端せずネットワーク転送する方式が考えられる。

インターネット電話への転送が問題と捉えられている要因のうち、品質の面においては前者(1)は後者(2)に比べ劣化が生じる可能性が高い。その他の要因(成りすまし等のセキュリティ、発信者の費用負担)では双方に差はない。

したがって、インターネット電話への転送においては、発信者を保護する観点から通信品質の劣化が少ない(2)のネットワーク転送方式を用いることが有効である。